

釜石市 東日本大震災 検証報告書

【津波避難行動編】

(平成 25 年度版)

平成 26 年 3 月

釜石市

目次

| | |
|--|------|
| 1. はじめに..... | 1-1 |
| 2. 根拠資料一覧..... | 2-1 |
| 2.1 平成23年度 釜石市民アンケート・未来へのメッセージ..... | 2-1 |
| 2.2 平成25年度 教訓を後世に伝えるための地域懇談会議事録及び補足調査聞き取り結果 | 2-1 |
| 2.3 東日本大震災—釜石市消防団活動記録：ふるさとを守る..... | 2-2 |
| 2.4 東日本大震災を体験して—釜石鉄友会の軌跡— | 2-3 |
| 2.5 東日本大震災釜石小学校記録集 いきいき生きる..... | 2-3 |
| 2.6 岩手県釜石東部漁協管内 東日本大震災に関わる聞き取り調査報告書..... | 2-4 |
| 2.7 岩手県釜石市片岸地区 東日本大震災に関わる聞き取り調査報告書..... | 2-5 |
| 2.8 千年後への伝言—唐丹町の人々が伝えつなぐ大津波の記録..... | 2-6 |
| 2.9 新生釜石教会だより—震災体験特集号..... | 2-6 |
| 2.10 平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震調査報告書..... | 2-7 |
| 2.11 すこっぴ 第10号 震災体験集..... | 2-7 |
| 2.12 震災の記憶 東日本大震災..... | 2-8 |
| 2.13 灯はともり続ける—2011.3.11 東日本大震災の記録..... | 2-8 |
| 2.14 東日本大震災記録集 そのとき学校は..... | 2-9 |
| 2.15 東日本大震災 津波詳細地図（上巻） | 2-9 |
| 2.16 東日本大震災と都市ガス..... | 2-10 |
| 2.17 放送研究と調査 平成24年1月号 | 2-10 |
| 2.18 東日本大震災・津波体験集 3.11 その時、私は 第一集..... | 2-11 |
| 2.19 東日本大震災・津波体験集 3.11 その時、私は 第二集..... | 2-12 |
| 2.20 東日本大震災による被災現況調査（岩手3）B-5 避難実態調査 | 2-13 |
| 3. 地域の避難実態（とりまとめ結果） | 3-1 |
| 3.1 東部地区 (1)沿岸地区（新浜町、東前町、魚河岸・浜町） | 3-1 |
| 3.1 東部地区 (2)市街地区（港町、只越町、天神町、大只越町、大町、大渡町、鈴子町、駒木町） | 3-5 |
| 3.1 東部地区 (3)嬉石・松原・大平地区..... | 3-9 |
| 3.2 平田地区 (1)平田地区（大字平田第3～6地割） | 3-11 |
| 3.2 平田地区 (2)尾崎白浜地区（大字平田第7～8地割） | 3-13 |
| 3.2 平田地区 (3)佐須地区（大字平田第9地割） | 3-15 |
| 3.3 鶴住居地区 (1)鶴住居地区（鶴住居町第7～19、23～29地割） | 3-17 |
| 3.3 鶴住居地区 (2)根浜地区（鶴住居町第20～22地割） | 3-19 |
| 3.3 鶴住居地区 (3)両石地区（両石町第1～3地割） | 3-21 |

| | | |
|-----|--|------|
| 3.3 | 鵜住居地区 (4)水海地区 (両石町第4地割) | 3-23 |
| 3.3 | 鵜住居地区 (5)片岸地区 (片岸町第1~9地割) | 3-25 |
| 3.3 | 鵜住居地区 (6)室浜地区 (片岸町第10地割) | 3-27 |
| 3.3 | 鵜住居地区 (7)箱崎白浜地区 (箱崎町第1~3地割) | 3-29 |
| 3.3 | 鵜住居地区 (8)仮宿地区 (箱崎町第4地割) | 3-31 |
| 3.3 | 鵜住居地区 (9)箱崎地区 (箱崎町第5~12地割) | 3-33 |
| 3.3 | 鵜住居地区 (10)桑の浜地区 (箱崎町第13地割) | 3-35 |
| 3.4 | 唐丹地区 (1)花露辺地区 | 3-37 |
| 3.4 | 唐丹地区 (2)本郷地区 (本郷・大曾根) | 3-39 |
| 3.4 | 唐丹地区 (3)小白浜地区 | 3-41 |
| 3.4 | 唐丹地区 (4)片岸地区 | 3-43 |
| 3.4 | 唐丹地区 (5)荒川地区 (荒川・下荒川・上荒川) | 3-45 |
| 3.4 | 唐丹地区 (6)大石地区 (大石・向・屋形) | 3-47 |
| 3.5 | 地域の避難行動実態にみる津波避難の教訓 | 3-49 |
| 4. | 地域の避難実態 (根拠資料) | 4-1 |
| 4.1 | 東部地区 (1) 沿岸地区 (新浜町、東前町、魚河岸・浜町) | 4-1 |
| | [A.新浜町] | 4-1 |
| | [B.東前町] | 4-4 |
| | [C.魚河岸・浜町] | 4-10 |
| 4.1 | 東部地区 (2) 市街地区 (港町、只越町、天神町、大只越町、大町、大渡町、鈴子町、駒木町) | 4-21 |
| | [A.港町] | 4-21 |
| | [B.只越町] | 4-26 |
| | [C.天神町] | 4-34 |
| | [D.大只越町] | 4-37 |
| | [E.大町] | 4-40 |
| | [F.大渡町] | 4-48 |
| | [G.鈴子町] | 4-54 |
| | [H.駒木町] | 4-57 |
| 4.1 | 東部地区 (3) 嬉石・松原・大平地区 | 4-59 |
| | [A.嬉石町] | 4-59 |
| | [B.松原町] | 4-66 |
| | [C.大平町] | 4-70 |
| 4.2 | 平田地区 (1) 平田地区 (大字平田第3~6地割) | 4-73 |
| 4.2 | 平田地区 (2) 尾崎白浜地区 (大字平田第7~8地割) | 4-85 |
| 4.2 | 平田地区 (3) 佐須地区 (大字平田第9地割) | 4-89 |

| | | | |
|-----|-------|---------------------------|-------|
| 4.3 | 鵜住居地区 | (1) 鵜住居地区 (鵜住居町第 1~19 地割) | 4-91 |
| 4.3 | 鵜住居地区 | (2) 根浜地区 (鵜住居町第 20~22 地割) | 4-113 |
| 4.3 | 鵜住居地区 | (3) 両石地区 (両石町第 1~3 地割) | 4-117 |
| 4.3 | 鵜住居地区 | (4) 水海地区 (両石町第 4 地割) | 4-123 |
| 4.3 | 鵜住居地区 | (5) 片岸地区 (片岸町第 1~9 地割) | 4-125 |
| 4.3 | 鵜住居地区 | (6) 室浜地区 (片岸町第 10 地割) | 4-131 |
| 4.3 | 鵜住居地区 | (7) 箱崎白浜地区 (箱崎町第 1~3 地割) | 4-135 |
| 4.3 | 鵜住居地区 | (8) 仮宿地区 (箱崎町第 4 地割) | 4-139 |
| 4.3 | 鵜住居地区 | (9) 箱崎地区 (箱崎町第 5~12 地割) | 4-141 |
| 4.3 | 鵜住居地区 | (10) 桑の浜地区 (箱崎町第 13 地割) | 4-149 |
| 4.4 | 唐丹地区 | (1) 花露辺地区 | 4-151 |
| 4.4 | 唐丹地区 | (2) 本郷地区 (本郷・大曾根) | 4-153 |
| | | [A.本郷] | 4-153 |
| | | [B.大曾根] | 4-154 |
| 4.4 | 唐丹地区 | (3) 小白浜地区 | 4-157 |
| 4.4 | 唐丹地区 | (4) 片岸地区 | 4-163 |
| 4.4 | 唐丹地区 | (5) 荒川地区 (荒川・下荒川) | 4-165 |
| | | [A.荒川] | 4-165 |
| | | [B.下荒川] | 4-166 |
| 4.4 | 唐丹地区 | (6) 大石地区 (大石・向・屋形) | 4-169 |

1. はじめに

1. はじめに

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分、東北地方太平洋沖を震源とする M9.0 の巨大地震が発生しました。当市は、この地震に伴い発生した巨大津波によって、1,000 人を超える多くの市民の方々が犠牲または行方不明となりました。誠に痛ましい限りであり残念でなりません。

当市は、明治三陸津波、昭和三陸津波等によって、過去に繰り返し甚大な津波被害を受けてきました。このことから、次の地震津波に備え、湾口防波堤等の防災施設の整備、避難道路の整備を行うとともに、市民の津波防災意識の向上等、具体的な避難の実行を促す対策を実施してまいりましたが、またしても多くの方々の尊い命が失われる結果となりました。

海溝型の地震に伴う津波は、将来にわたって必ず発生し、当地域に津波が襲来することは残念ながら避けられないことです。しかし、今回のような甚大な被害を二度と引き起こさないようにするためには、この度の津波襲来時の対応を真摯に受け止め、被害を軽減するための教訓を後世に伝えていく必要があると考えます。

このような認識のもと、当市では、平成 23 年度において、この度の地震津波襲来時における対応を検証してまいりました。検証の対象とした内容は、地震発生後から市内の全避難所が閉鎖されるまでの期間に行った対応とし、その【対応状況】の概略をとりまとめ、その結果から【問題点の整理】を行いました。

また、行政、市民、自主防災組織が今後行っていくべき対応として、【今後の防災対策・地域防災計画へ反映】すべき点について取りまとめました。

平成 23 年度に行った検証結果を踏まえ、当市では、地震津波に対する対策を鋭意すすめているところですが、「あのとき何が起きたのか」、「どのような対策をしておけばよかったのか」といった検証作業は、今後とも継続して行うことが必要と考えます。

このことから、平成 25 年度は、大震災時の対応のなかでも、特に【津波避難行動】に着目し、震災当日の避難行動の様子、震災以前からの地震津波に対する備えなどについて、更に詳細を把握して整理をいたしました。

なお、本検証報告書の作成にあたっては、様々な関係機関が発行した震災に関する報告書等を参考にしつつ、平成 23 年度に実施した釜石市市民を対象としたアンケート調査の結果及び平成 25 年度に実施した“教訓を後世に伝えるための地域懇談会”に参加された住民の方から聞き取った結果等に基づいて、とりまとめをいたしました。

今後とも、大震災時の様々な対応に着目しながら、詳細な検証作業を行い、後世に伝えるべき教訓を整理していきたいと考えておりますので、引き続き、関係各位のご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 26 年 3 月
釜石市

2. 根拠資料一覽

2. 根拠資料一覧

2.1 平成 23 年度 釜石市民アンケート・未来へのメッセージ

1) 実施主体

釜石市・群馬大学広域首都圏防災研究センター

2) 発行年月

平成 24 年 3 月

3) 調査概要

実施期間：平成 23 年 11 月～平成 23 年 12 月

調査方法：返信用封筒による郵送回収

調査対象：釜石市民

目 的：地震津波発生時から現在までの行政対応や市民行動についての把握、「なぜ、多くの方が、この釜石で亡くなることになってしまったのか？」についての検証を行うことで、津波による犠牲者を出さないための教訓として、後世に語り継いでいくこと。

内 容：「あのとき、私が経験したこと」、「被災して今、思うこと」、「未来の釜石市民に伝えたいこと」についての自由記述

2.2 平成 25 年度 教訓を後世に伝えるための地域懇談会議事録及び補足調査聞き取り結果

1) 実施主体

釜石市・群馬大学広域首都圏防災研究センター

2) 発行年月

平成 25 年 9 月～11 月（地域懇談会）

3) 調査概要

実施期間：平成 25 年 9 月～11 月（地域懇談会）、平成 26 年 1 月～2 月（補足調査）

調査方法：議論

調査対象：被災地域住民

目 的：各地域での津波避難の様子や震災以前の意識や備えのあり様を踏まえ、検証委員会で検討した“教訓案”を確認してもらい、それに追加すべき項目を検討すること。

内 容：東日本大震災当日の行動、それ以前の意識や備えのあり様について

2.3 東日本大震災—釜石市消防団活動記録：ふるさとを守る

1) 実施主体

釜石市消防団

2) 発行年月

平成24年4月1日

3) 調査概要

調査対象：釜石市消防団 団員

目的：「住民に最も身近な防災集団として、東日本大震災にどう向きあい行動したのか、住民を災害から守るための防災課題は何なのか、何故、仲間を失うこととなったのか、それぞれの分団、部に於いて検証を行う」こと。また、「災害時における住民の安全確保や消防団員の行動指針に資する」こと。（『編集後記』より抜粋）

内容：釜石市消防団の活動の記録・手記

4) 引用または参考とした箇所

- p29~30 浜町（水門閉鎖、避難誘導／佐野修二）
- p37~38 平田（水門閉鎖、避難誘導／前川耕一）
- p38 松原（水門閉鎖、避難誘導／煙山弘見）
- p52 根浜（避難誘導／二本松誠）
- p54~55 水海（水門閉鎖、避難誘導／大町仁志、久保秀悦）
- p57 箱崎（避難誘導、救助／佐々木茂行）
- p60 鵜住居（水門閉鎖、鵜住居の小学生のようす／前川清）
- p69~70 小白浜・本郷（避難誘導、救助／三浦政人）
- p72 唐丹（水門閉鎖、避難誘導／津江勝弘）

2.4 東日本大震災を体験して―釜石鉄友会の軌跡―

1) 実施主体

新日鐵住金釜石鉄友会

2) 発行年月

平成 25 年 1 月

3) 調査概要

調査対象：新日鐵住金釜石鉄友会会員

内 容：東日本大震災発生時の状況とその後の行動・対応について

4) 引用または参考とした箇所

- p20 鵜住居
- p24 箱崎
- p25 鵜住居
- p26 松原
- p30 浜町
- p35 片岸町

2.5 東日本大震災釜石小学校記録集 いきいき生きる

1) 実施主体

釜石市立釜石小学校

2) 発行年月

平成 24 年 3 月 11 日

3) 調査概要

調査対象：釜石市立釜石小学校

目 的：「震災当時の事や防災教育の取り組み、震災後のこの 1 年の歩みを、後世に伝え残す」ため。
また、「釜石小学校の子ども達が津波を生き抜いた証として、私達職員が震災直後から学校再開、そしてその後の 1 年間の汗と涙の足跡を確かめるもの」として記しておくこと。(p2～3『発刊にあたって』より抜粋)

内 容：東日本大震災についての自由記述

4) 引用または参考とした箇所

- p2 釜石小 184 名無事
- p5 6 年生 10 名学校、他下校
- p10~74 釜石小区域（子どもたちの避難行動）
- p79 釜石小区域（親の避難行動）

2.6 岩手県釜石東部漁協管内 東日本大震災に関わる聞き取り調査報告書

1) 実施主体

都留文科大学

2) 発行年月

平成 25 年 3 月

3) 調査概要

実施期間：平成 24 年 9 月 26 日～28 日、平成 25 年 1 月 18 日～20 日

調査方法：口述の記録

調査対象：釜石東部漁協管内である仮宿、桑ノ浜、箱崎白浜、箱崎、根浜、室浜、両石の各地区から紹介された 21 名

目的：「片岸地区の被災状況について書き留めておく」こと。また、地域復興事業の一つ。（『ごあいさつ』より抜粋）

内容：釜石東部漁協管内各地区の概要、東日本大震災に関する自由回答

4) 引用または参考とした箇所

- p6 室浜・両石・桑の浜・箱崎・箱崎白浜・仮宿・根浜（全壊戸数）
- p7 根浜（被災状況・震災以前の備え）
- p28 室浜（被災状況）
- p46 箱崎（被災状況）
- p62 白浜（被災状況）
- p79 桑の浜・仮宿（被災状況）
- p109 両石（被災状況）
- p9～26 根浜
- p30～45 室浜
- p48～61 箱崎
- p64～78 白浜
- p82～107 桑の浜・仮宿
- p114～134 両石

2.7 岩手県釜石市片岸地区 東日本大震災に関わる聞き取り調査報告書

1) 実施主体

都留文科大学

2) 発行年月

平成 24 年 5 月

3) 調査概要

実施期間：平成 23 年 8 月 9 日～11 日、12 月 18 日～21 日、平成 24 年 2 月 16 日～18 日

調査方法：聞き取り調査

調査対象：片岸町内会 188 所帯（室浜地区を除く）を 7 ブロックに分け、住居の被災により避難所生活をされている世帯、被災を免れて集落に残っていた世帯を抽出した 16 世帯 24 人

目的：「地域の共有財産としてこの津波の経験を克明に記録すること、また津波被害の詳細な記録を同じ北海道庁の防災対策事業の一環として、防災計画に活かす」こと（p5『調査概要』より抜粋）

内容：聞き取り調査を踏まえての考察、東日本大震災に関する自由回答

「片岸地区に焦点化し、第一に、地震発生直後から第一次避難を経て、3か月余にわたる避難所の運営、また仮設入居に至るまでに、人々がどのように判断、行動したのか、当事者の語りの中から再構成すること、第二に、先に述べたような人々の判断、行動が、これまでの同地区におけるどのような経過を基盤としているのか、その土台となるものを読み取ること、第三に、片岸の事例から私たちが学ぶべき点が何であるかを検討すること」（『はじめに』より抜粋）

4) 引用または参考とした箇所

• p9~113 片岸町

2.8 千年後への伝言―唐丹町の人々が伝えつなく大津波の記録

1) 実施主体

唐丹公民館

2) 発行年月

平成 25 年 3 月 11 日

3) 調査概要

調査対象：唐丹町住民

目的：大津波の経験を記録に残すことで後世へ伝えつなくこと

内容：東日本大震災についての自由記述

4) 引用または参考とした箇所

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| • p40~ 花露辺 | • p158~ 大石 | • p184~ 小白浜 |
| • p49~ 本郷 | • p177~ 小白浜 | • p196~ 大渡 |
| • p75~ 小白浜 | • p179~ (荒川) | • p203~ 小白浜 |
| • p121~ 片岸 | • p183~ 大石 | • p213~ 唐丹小状況 |
| • p148~ (荒川) | | |

2.9 新生釜石教会だより―震災体験特集号

1) 実施主体

日本キリスト教団新生釜石教会

2) 発行年月

平成 24 年 6 月 11 日

3) 調査概要

調査対象：日本キリスト教団新生釜石教会教会員

内容：東日本大震災の体験についての自由記述

4) 引用または参考とした箇所

- | | |
|----------|-----------------------------|
| • p3~6 | 鈴子・大町（薬師公園、青葉ビル）・大渡町（のぞみ病院） |
| • p21~23 | 大町（薬師公園） |
| • p23~24 | 釜石湾・魚市場付近 |

2.10 平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震調査報告書

1) 実施主体

東京消防庁

2) 発行年月

平成 24 年 1 月

3) 調査概要

内 容：釜石市現地調査結果、自主防災組織等の避難活動状況

4) 引用または参考とした箇所

- p200 佐須（自主防災組織）

2.11 すこっぷ 第 10 号 震災体験集

1) 実施主体

岩手建設業協会釜石支部 女性マネジングスタッフ協議会

2) 発行年月

平成 24 年 8 月 10 日

3) 調査概要

調査対象：岩手建設業協会釜石支部 女性マネジングスタッフ協議会 会員

目 的：「この震災を教訓として「命を守る」ことや「自然の恐さ」など体験を通して風化させないため」（p1 『はじめに』より抜粋）

内 容：東日本大震災の体験についての自由記述

4) 引用または参考とした箇所

- p3~7 平田
- p28~31 只越

2.12 震災の記憶 東日本大震災

1) 実施主体

大石町内会

2) 発行年月

平成23年7月18日

3) 調査概要

調査対象：唐丹町大石地区住民

目的：震災体験者だけが語ることのできる震災の記憶を文字に起こすことによって、後世に伝え残すこと。

内容：東日本大震災についての自由記述

4) 引用または参考とした箇所

| | | | | | |
|----------|----|----------|----|----------|----|
| • p22~25 | 大石 | • p31 | 大平 | • p36~37 | 屋形 |
| • p25~27 | 向 | • p32~34 | 向 | • p37~38 | 大石 |
| • p28 | 大石 | • p34~36 | 大石 | • p39~46 | 向 |
| • p28~30 | 向 | | | | |

2.13 灯はともり続ける—2011.3.11 東日本大震災の記録

1) 実施主体

岩手手話通訳問題研究会

2) 発行年月

平成24年9月11日

3) 調査概要

調査対象：岩手手話通訳問題研究会会員

目的：「約1万人の全通研会員や全国の聴覚障がい者、関係機関の方々に読まれ、そして記憶され、後世に語り繋いでもらえる」こと。（『決して忘れてはいけない』より抜粋）

内容：東日本大震災の体験についての自由記述

4) 引用または参考とした箇所

• 鈴子

2.14 東日本大震災記録集 そのとき学校は

1) 実施主体

釜石地区小・中学校長会

2) 発行年月

平成24年3月11日

3) 調査概要

調査対象：東日本大震災発生当時、釜石・大槌地区の小中学校に奉職した校長 21名

目的：「再び起こるであろう様々な災害に備えて、新たに防災教育を考える一つの資料」として残すため。「私たちの後に続く方々が、その当時の学校関係者が、子どもたちの命や学校の安全・安心をどう考えて行動してきたのか、これからの防災教育はどうあればよいか真剣に考えて欲しい」ということ。(p78『編集後記』より抜粋)

内容：東日本大震災の体験についての自由記述

4) 引用または参考とした箇所

- ・p10 白山小
- ・p12 平田小
- ・p22 唐丹小

2.15 東日本大震災 津波詳細地図（上巻）

1) 実施主体

古今書院：原口強・岩松暉

2) 発行年月

平成23年10月17日

3) 調査概要

調査対象：青森・岩手・宮城

内容：津波詳細地図

2.16 東日本大震災と都市ガス

1) 実施主体

ガスエネルギー新聞

2) 発行年月

平成24年6月

3) 調査概要

調査対象：一般社団法人 日本ガス協会 会員
内 容：ガス事業者の取り組み

4) 引用または参考とした箇所

・p165 鈴子

2.17 放送研究と調査 平成24年1月号

1) 実施主体

NHK出版

2) 発行年月

平成24年1月1日

3) 調査概要

調査対象：気象庁、自治体、マスメディア

目 的：「東日本大震災で、事態が想定と予測を超えていることを気象庁や被災地の自治体、メディアがいつ、どのように認識し、どのように伝えたのかを検証すること。(p2~3『はじめに』より抜粋)

内 容：検証を通じて想定外の危機がどのように伝えられるべきかの考察

4) 引用または参考とした箇所

・p9 市内各地の浸水状況

2.18 東日本大震災・津波体験集 3.11 その時、私は 第一集

1) 実施主体

釜石・東日本大震災を記録する会

2) 発行年月

平成24年3月11日

3) 調査概要

調査対象：「大震災・津波体験を書き残しておきませんか」（釜石・東日本大震災を記録する会）の呼び掛けに応じて寄せられた46編

目的：「生々しい津波体験から、何かをつかみ、助かる命も助からない、助けられなかったという痛恨の思いを引きずることのないよう、自己責任と行政責任を自覚し、職場や家庭で話題にしていれば」ということ。（p2~3『はじめに』より抜粋）

内容：東日本大震災の体験についての自由記述

4) 引用または参考とした箇所

- p11~13 鵜住居（大浜渡橋）
- p27~28 鵜住居（防災センター）
- p29~30 鵜住居
- p40~49 鈴子（シープラザ）・浜町
- p52~54 鵜住居（常楽寺、五葉寮）
- p55 鵜住居（防災センター）
- p56~58 箱崎
- p63~68 浜町
- p68~72 鵜住居（長内川沿い、根浜海岸まで1.5km）
- p73~76 嬉石
- p80~82 浜町
- p92~94 港町（国交省港湾事務所）
- p104~105 大町・本郷
- p106~108 箱崎
- p116~118 浜町
- p119~122 片岸
- p125~127 嬉石
- p133~134 両石
- p135~140 鵜住居（常楽寺）
- p140~144 鈴子（マイヤ）
- p144~146 鵜住居（JR 鵜住居駅、前勝ビル）
- p147~149 鵜住居（鵜住居小学校）
- p149~154 只越

2.19 東日本大震災・津波体験集 3.11 その時、私は 第二集

1) 実施主体

釜石・東日本大震災を記録する会

2) 発行年月

平成 25 年 3 月 11 日

3) 調査概要

調査対象：「大震災・津波体験を書き残しておきませんか」（釜石・東日本大震災を記録する会）の呼び掛けに応じて寄せられた 40 編

目的：「あらためて“あの時”をふりかえり、どうして助かったのか、どうして助けられなかったのか、ああすればよかった、こうすればよかったのかの教訓をつかみあい、語り継いでいく資料」とすること。（p2~3 『はじめに』より抜粋）

内容：東日本大震災の体験についての自由記述

4) 引用または参考とした箇所

- p9~14 鵜住居
- p30~32 大渡
- p32~36 箱崎
- p40~43 只越
- p44~47 鵜住居（防災センター）
- p49~53 鵜住居
- p54~57 鵜住居（防災センター）
- p58~60 只越
- p60~62 嬉石
- p63~66 鵜住居（防災センター）
- p70~74 平田・佐須
- p77~80 鵜住居（防災センター）
- p84~86 鵜住居（防災センター）
- p89~93 両石
- p99~101 東前
- p110~114 平田
- p115~116 港町
- p117~119 浜町
- p123~128 平田
- p143~148 只越
- p152~155 鵜住居

2.20 東日本大震災による被災現況調査（岩手 3） B-5 避難実態調査

地区・集落代表者避難行動調査結果概要【釜石市編】

1) 実施主体

(株)東京建設コンサルタント・(株)邑計画事務所共同提案体

2) 発行年月

平成 24 年 2 月

3) 調査概要

調査方法：聞き取り調査

調査対象：津波浸水区域 34 地区の民生委員 36 名

目的：地区・集落代表者の避難実態を調査すること

内容：地区・集落代表者の避難場所と避難経路の課題、避難行動の状況について

4) 引用または参考とした箇所

- p3 室浜
- p4 片岸町
- p5 鵜住居
- p6 根浜
- p7 箱崎
- p8 両石
- p9 水海
- p11 大渡
- p12 大町
- p13 只越
- p14 浜町
- p15 東前町
- p16 新浜町
- p17 港町
- p19 松原
- p20 嬉石
- p21 平田
- p22 尾崎白浜
- p23 佐須
- p25 本郷
- p26 花露辺
- p27 小白浜
- p28 片岸
- p29 下荒川
- p30 大石

